

久留米市内の感染状況

感染の状況

福岡県内

各指標	5月11日現在	備考
感染者数	435.0人	3日間移動平均の値
感染経路不明者の割合	62.1%	
病床稼働率	70.7%	現在、県内で1490床
重症病床稼働率	44.8%	上記病床のうち136床

赤字は福岡コロナ警報基準を上回るもの

令和3年5月11日現在

5月 感染の傾向

久留米市の状況

5月の感染者数(13日まで)

438人

(4月の感染者数562人)

2月で約1,000人以上に達する

特徴

- 20代から30代の割合が増えている
- 家庭内へ感染が約4割を占めている
- 約7割が久留米市内であり、市中感染の状況
- 変異株の影響も大きい
- クラスターが5件発生している
- 子どもたちの集団クラスターも発生している

市民の皆さまへのお願い

緊急事態宣言発令中

社会を守るために

- 医療機関、宿泊療養施設はひっ迫しています
- 若い人も重症化しています
- 医療崩壊や命の選択のおそれも

市民の皆さまへのお願い

緊急事態宣言発令中

基本的な感染対策の徹底

- ✓ マスク、手洗い、3密の回避、定期的な換気
- ✓ 体調が悪いときは、無理をせずに休む

不要不急の外出の自粛

- ✓ ウイルスは人が運びます。不要不急の外出の自粛を